

令和3年度（2021年度）胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の状況について

令和4年（2022年）8月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和3年度（2021年度）の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は2,800人泊（前年度比148.1%）で、令和2年度（2020年度）と比較して909人泊の増加となり、微増となりましたが、新型コロナウイルス感染症の発生により、令和3年度（2021年度）は新千歳空港の国際便が休止していたことや、検疫強化をはじめとする水際対策の強化措置を行うなど、多くの国や地域からの出入国制限が継続されたことが影響し、コロナ禍以前の令和元年度（2019年度）（820,057人泊）との比較では、99.7%減と依然として大変厳しい状況が続いています。

【国・地域別の状況】【資料1】

訪日外国人宿泊者数（延べ数）を国・地域別に見ると、中国が779人泊で最も多く全体の27.8%を占めています。次にフィリピン（493人泊）、フランス（265人泊）、アメリカ（120人泊）、韓国（51人泊）となっています。

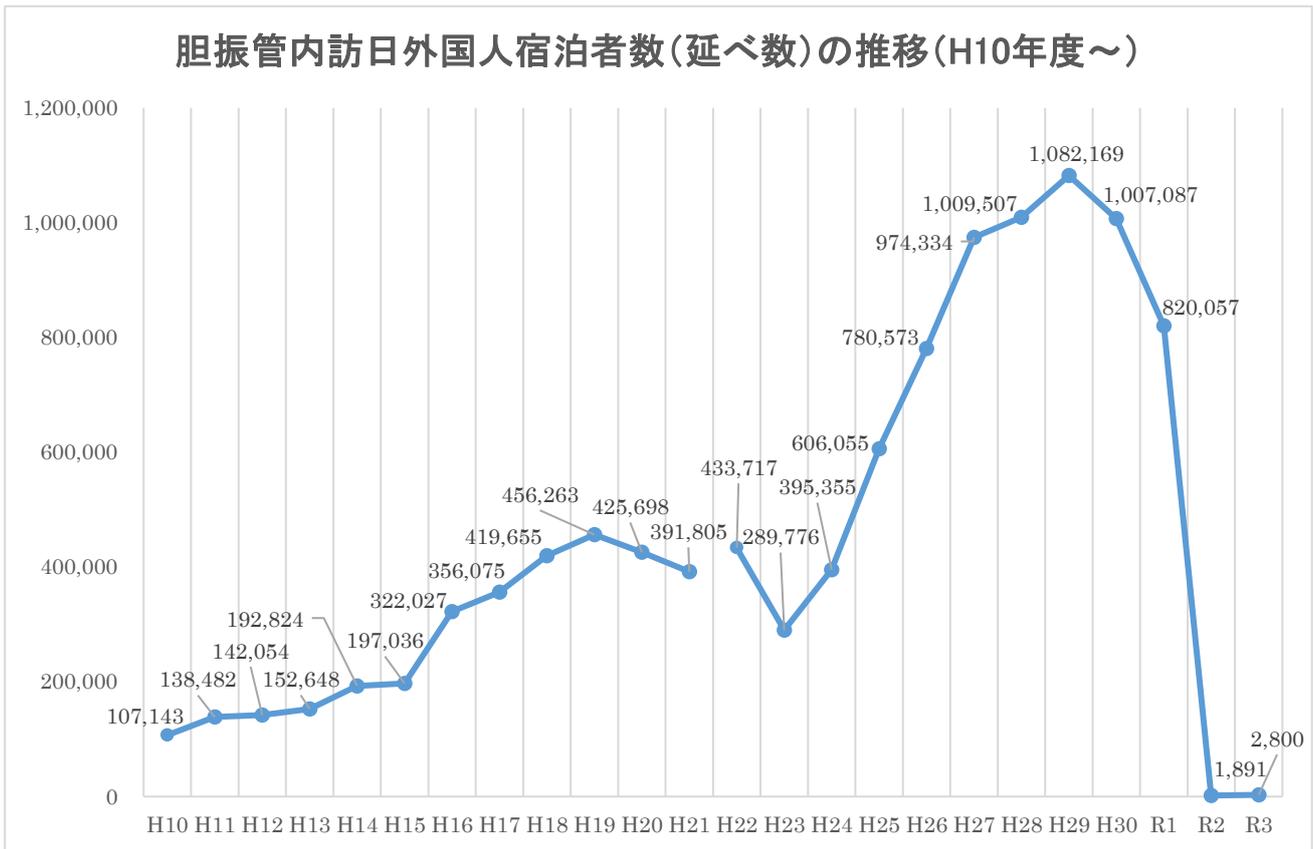
参考として、平成10年度（1998年度）からの訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移【参考資料1】と令和元年度まで宿泊者数（延べ数）の多かった主な国・地域の宿泊者数（延べ数）の推移を【参考資料2】に掲載しています。

【資料1】令和3年度（2021年度）胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）内訳 （単位：人泊）

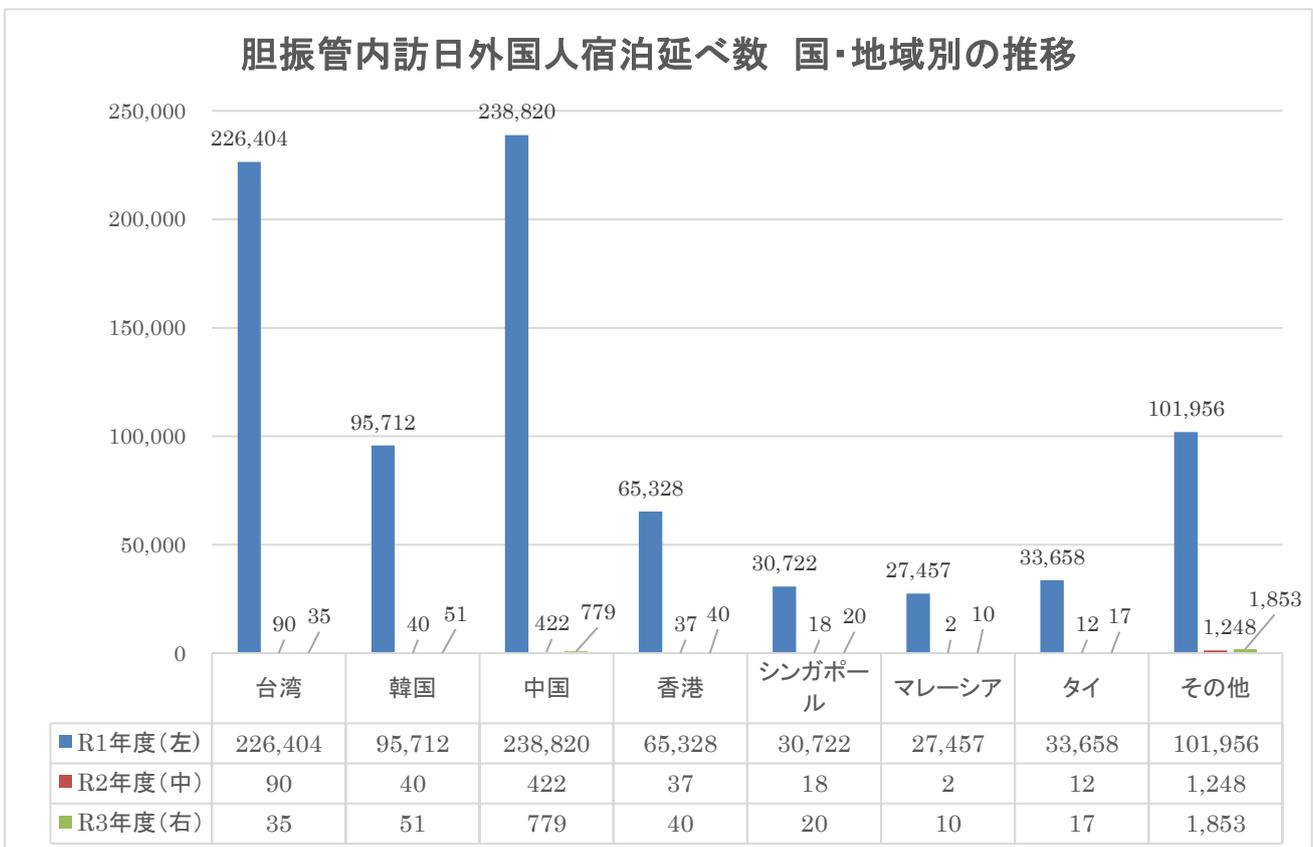
順位	国・地域	令和3年度（2021年度）宿泊者数 （延べ数）		前年度比	前年度からの 増減数
			構成比		
1	中国	779	27.8%	184.6%	357
2	フィリピン	493	17.6%	232.5%	281
3	フランス	265	9.5%	1,104.2%	241
4	アメリカ	120	4.3%	94.5%	▲7
5	韓国	51	1.8%	127.5%	11
	その他	1,092	39.0%	102.4%	26
	合計	2,800	100.0%	148.1%	909

【参考資料 1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（H10年度～）

（単位：人泊）



【参考資料 2】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（主な国・地域別）（単位：人泊）



※R1年度とR2年度については、数が少ないため、グラフでの確認が難しくなっております。